

科目名	日本語	英語科目名	Japanese
開講年度・学期	平成28年度・通年	対象学科・専攻・学年	3年・留学生
授業形態	講義	必修 or 選択	必修
単位数	3単位	単位種類	履修単位
担当教員	多田哲久（非常勤講師）	居室（もしくは所属）	非常勤講師控室
電話		E-mail	
授業の到達目標	授業の到達目標との対応		
	小山高専の教育方針	学習・教育到達目標 (JABEE)	JABEE 基準
	1. より自然で適切な表現で話せる。	⑥	
	2. レポート・論文などを正確に読める。	⑥	
3. レポート・論文などを論理的に書ける。	⑥		
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法			
1～3について、前期中間試験、前期期末試験、後期中間試験、後期期末試験、課題、受講態度によって評価する。			
評価方法			
前期中間試験・前期期末試験・後期中間試験・後期期末試験の平均点60%、課題20%、受講態度20%で評価し、合計が60%以上のものを合格とする。			
授業内容		授業内容	
1. オリエンテーション		16. 論文作成・第7課「変化の形容」	
2. 上級話者・第1課「自己紹介で好印象をあたえよう」		17. 上級話者・第8課「比べて良さを伝えよう」	
3. 論文作成・第1課「作文の基本(1)」		18. 論文作成・第8課「対比と比較」	
4. 上級話者・第2課「きっかけを語ろう」		19. 上級話者・第9課「ストーリーを話そう」	
5. 論文作成・第2課「作文の基本(2)」		20. 論文作成・第9課「原因の考察」	
6. 上級話者・第3課「なくした体験を話そう」		21. 上級話者・第10課「最近の出来事を話そう」	
7. 論文作成・第3課「課題の提示」		22. 論文作成・第10課「列挙」	
8. 前期中間試験		23. 後期中間試験	
9. 上級話者・第4課「町の様子を話そう」		24. 上級話者・第11課「健康について話そう」	
10. 論文作成・第4課「目的の提示」		25. 論文作成・第11課「引用」	
11. 上級話者・第5課「動きの順序を説明しよう」		26. 上級話者・第12課「将来の夢を語ろう」	
12. 論文作成・第5課「定義と分類」		27. 論文作成・第12課「同意と反論」	
13. 上級話者・第6課「スポーツのおもしろさ」		28. 論文作成・第13課「帰結」	
14. 論文作成・第6課「図表の提示」		29. 論文作成・第14課「結論の提示」	
15. 上級話者・第7課「言いかえて説明しよう」		30. まとめ	
キーワード	表現、レポート、論文、読解、作文		
教科書	荻原稚佳子・増田真佐子・斎藤真理子・伊藤とく美、2005、『日本語上級話者への道——きちんと伝える技術と表現』スリーエーネットワーク。 アカデミック・ジャパニーズ研究会、2015、『改訂版 大学・大学院 留学生の日本語 ④論文作成編』アルク。		
参考書			
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目			
現学年の関連科目	日本事情		
次年度以降の関連科目			
連絡事項			
授業では会話力と論文作成力に関する2つの教科書を、交互に勉強していきます。また、書き取りや発表などの課題を適宜課します。その他、発音、漢字、文法・句型、ことわざ、擬音語擬態語など、必要に応じて指導します。楽しく勉強しましょう。			
シラバス作成年月日	平成28年3月3日作成		